

特集

第11回 通常総代会



J Aは第11回通常総代会を5月23日、一関文化センター大ホールで開催しました。令和7年度は、第4次中期経営計画実践の最終年度として、改めて協同組合の価値と存在意義を見つめ直し、J Aがこれまで果たし、支えてきた地域農業、地域社会での機能と役割を再認識しながら、第4次中期経営計画で掲げた最重要施策「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」、「地域の活性化と結びつきの強化」、「組合員に評価される組合経営」を図ることを狙いとし、さらなる経営基盤強化に向けた計画の実現に努めます。そして、新時代に対応しながら、地域農業を次世代にしっかりと引き継いでいくために、食料の安定供給、地域農業・農村の保全維持、J A経営基盤の確立に取り組んでまいります。

農業・J Aを取り巻く環境は、加速する高齢化・人口減少による農業の担い手不足、耕作放棄地の増加が続いている状況に加え、燃料や肥料・飼料など農業資材の価格高騰で生産現場では大変な厳しさが続いています。

令和6年度は、第4次中期経営計画の中間年度で、最重要施策の実現を目指し取り組んできました。

佐藤一則組合長は総代会にあたり「食料安全保障の確保と強化の重要性が増している。ウクライナ情勢などによる世界的なインフレにより、生産資材の価格高騰の上、異常な猛暑で栽培管理が大変な年が続く、農業経営の困難さがさらに強まっている。J A事業では、米の集荷競争が激化し、J Aへの米の集荷量が減少した他、満期（信託期間



あいさつする佐藤組合長

満了）まで保有しても収益が見込めない一部の有価証券（受益証券）をリスクを先延ばししない考えから売却（中途解約）したため事業損失が発生した。これからも、地域、組合員のため、自己改革に取り組み、J A本来の目的である農業振興、地域振興を中心とした魅力ある総合事業の展開により安定した経営基盤の確立を目指していく」とあいさつで述べました。

報告事項

「JAバンク基本方針」の変更

決議された議案

総代数520人、出席総代数467人（本人出席200人、委任状出席0人、議決権行使書面提出267人）

第1号議案 定款の一部変更

第2号議案 令和6年度事業報告及び剰余金処分案の承認

（報告）令和6年度貸借対

照表、損益計算書、注記表及び附属明細書

第3号議案 令和7年度事業計画の設定

第4号議案 令和7年度経費の賦課及び徴収方法の決定

第5号議案 令和7年度理事に支払う報酬の額の決定

第6号議案 令和7年度監事に支払う報酬の額の決定

附帯決議

この通常総代会において決議した事項で、行政庁の指示等により修正変更を必要とするときは、決議の趣旨に反しない範囲において、その取扱いを理事会に一任することの決議を求めます。

令和6年度事業の成果

剰余金処分の概要（単位：円）	
1. 当期末処分剰余金	35,040,637
2. 任意積立金取崩額	1,651,648
（1）固定資産圧縮積立金	1,651,648
計	36,692,285
3. 次期繰越剰余金	36,692,285

収支の状況（単位：千円）	
事業総利益	1,936,425
事業管理費	2,072,886
事業損失	136,461
当期損失金	90,231

単体自己資本比率 12.64%
不良債権比率 1.64%

資産の状況（単位：千円）	
資産の部合計	157,133,893
負債の部合計	152,079,530
純資産の部合計	5,054,362

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示していますので、合計金額はその内訳金額の合計と必ずしも一致するものではありません。

主な質問と意見要望

Q 令和6年度は9000万円を超す赤字を出した。これは大変なことである。

A 日本では17年間利息がない状態でしたが、昨年から徐々に利息が付くようになり、かつての状況に戻りつつあります。有価証券では、これまで安定した運用益を上げ、JAの経営にも貢献してきましたが、評価損が拡大し、回復が見込めない一部の有価証券（受益証券）を売却（中途解約）したため赤字となりました。組合員の皆さまには、ご迷惑、ご心配をおかけしないよう努めてまいります。

Q 組合員あつてのわれわれJA組織だが、支店の統廃合などで組合員の利便性が無くなっていると思うがどう考えるか。また、組合員座談会を開催しても、職員が決められた時間内にマニュアル通りの説明をするだけだ。以前は、行政やJA理事が来て、JAの現状報告、組合員からの要望を聞く時間があったが今は無い。これではますます組合離れにつながる。

A 経営状況や日本の経済状況から鑑みて、JAも時代とともに変わっていかねければならないと考えています。JAは利益を優先する組織ではなく、組合員のための組織であることを、しっかり肝に銘じて可能な限り対処していきたいと思っています。地域の座談会には積極的に参加していただき、ご意見をいただきたいと思います。



活発な意見が交わされました



議長を務めた佐藤克朗氏㊟と村上政一氏

Q 今年の米の買い入れ額を、最低保証価格60_キ当たり23000円とした算出根拠は何か。消費者のことも考えて設定した額なのか。

A 全農いわてと協議した中で、今回概算金が決定する前に最低保証価格として提示をいただきました。現在の市況や生産費を考慮した中で、この価格が適正ということで設定されています。

Q 須川牧場を来年の3月に閉鎖すると説明があったが、計画では、公共牧場の利用促進を図るとともに農家への粗飼料供給を行うとある。過去に室根高原牧野で冬場の餌がなくなり、須川牧場のものを運んだため、地元の生産者にロールサイレージが供給されなかったことがあるが、予定通り須川牧場は閉めるのか。粗飼料の供給はどうなるのか。

A 一関地域の公共牧場のあり方について行政機関と検討しています。JAグループで持続可能な経営基盤を作るということで、当JAでも各種事業の収支均衡を図るべく取り組んでいます。須川牧場については、合併以来赤字である他、職員の確保ができない状況もあり、健全な牧場経営ができないと判断し、令和8年3月の閉鎖に向けて、部会員や利用者の皆さまには今年3月に説明をしています。ロールサイレージについては、室根高原牧野での粗飼料確保に向けて、草地更新を進める予定です。

Q 限定米の農薬の使用回数について、東部地区と西部地区とで使用回数が異なっているが、どうなっているのか。また、今後統一しないのか。

A 米の防除暦については、カメムシ防除の回数が現状異なっています。今後、統一の方向で協議を進めていきます。

Q 米の集荷について、昨年はいろいろな業者が高値で買っていくということがあった。JAからは、集荷運賃や手数料などが取られるが、業者では、集荷に関しての手数料は一切ない。この違いは何か。

A 米の集荷については、業者の優位性を示すための手法の違いだと思われます。JAとしても、集荷方法をいろいろと検討していますが、集荷運賃について努力をしながら、生産者の皆さまの元にくらかでも多く残るような方法や価格の設定を考えております。

Q JAが販売している生産資材よりもホームセンターで販売している生産資材の価格が安



提出議案が全て可決されました

いのはなぜか。組合員のためになっていないのではないか。

A 価格の違いはありますが、良質な生産資材を皆さまに提供するように進めております。また、大口農家に関しては、担い手直送や大型規格などの工夫をしながら低価格で提供するように努めております。

Q 園芸センターの収支改善のため、利用料の改定や園芸センターの集約の検討をしているが、農家の所得を上げることにはならないのではないか。

A 手数料を上げるだけではなく、園芸品目の振興のため、生産技術の向上や販売価格の確保、生産基盤の確保などを図りながら所得向上に取り組んでまいります。

主要要望

- JAの広報誌に米や畜産の共進会や品評会の結果が掲載されているが、リングの品評会の結果が掲載されていない。掲載してほしい。
- 農家が生産した米や果樹、野菜、牛の販売価格は安い、それに必要な生産資材が安くならない。メーカーに価格交渉し、1円でも安く供給してほしい。

令和7年度事業計画

令和7年度は、第4次中期経営計画実践の最終年度として、営農・生活のあらゆる場面で、組合員、地域の皆さまとともにJAの持てる組織力、結集力、総合力を発揮する中で地域農業・農村の抱える課題の解決を進めながら、地域農業の振興と暮らしやすい地域づくりに向け取り組んでまいります。

1 農業

～農家組合員の所得増大と農業生産の拡大～

消費者の信頼に応え、安全・安心な農畜産物を供給する持続し続けるいわて平泉農業の確立に向け、「黄金の郷づくり」を通じて担い手の育成と組合員の農業所得確保・増大に取り組めます。

2 暮らし

～地域の活性化と結びつきの強化～

食と農を基軸に、総合事業を通じて地域の生活インフラの一翼を担い、地域に根ざした協同組合の確立とくらしの活動の展開で地域との結びつきの強化に取り組めます。

3 経営

～組合員に評価される組合経営～

自ら取り組むJA改革の推進と組合員・地域住民との結びつきを深め、財務基盤の強化と健全な経営基盤の確立で、信頼される協同組合としての存立に取り組めます。

組合員等被表彰者

(敬称略)

特別功労者

・退任役員



佐藤 鋤一	藤沢町徳田
阿部 東悦	花泉町老松
後藤 時廣	一関市真柴
遠藤 恭一	千厩町小梨
小野寺 辰也	一関市上日照
小山 晃	千厩町奥玉

・退任農家組合長

小山 敏	大東町沖田
千田 浩	一関市舞川
伊藤 清	一関市蔵美町
及川 米元	大東町猿沢
米倉 隆一	川崎町薄衣
松本 松一	一関市赤荻
小岩 暢哉	一関市中央町
小野寺 照夫	大東町猿沢
畠山 憲	藤沢町徳田
佐藤 二郎	一関市舞川
佐藤 三男	一関市蔵美町

優良農家組合長 (退任農家組合長)

小野寺 義廣	一関市萩荘
那須 徳男	大東町摺沢
三浦 孝之	大東町摺沢
鈴木 省一	平泉町平泉
伊藤 作夫	一関市狐禅寺
石川 正喜	一関市弥栄
千葉 勇	一関市萩荘
鈴木 正一	一関市萩荘
阿部 雅弘	一関市萩荘
熊谷 和夫	一関市萩荘
千葉 胤明	川崎町門崎
鈴木 養蔵	東山町長坂
佐藤 一夫	東山町田河津
小山 栄一	室根町矢越

佐藤 俊弘	一関市舞川
阿部 正廣	一関市萩荘
佐藤 匡宏	一関市蔵美町
小山 剛史	大東町沖田
菅原 克弘	一関市滝沢
村上 満	一関市萩荘
千葉 繁年	花泉町涌津
小野寺 敬一	千厩町奥玉
皆上 新雄	千厩町千厩
菅原 隆一	川崎町薄衣
金野 勝夫	大東町中川